

美しい音色を奏でる
成し遂げた全国2冠



緑が丘小学校
大橋 叶さん(6年)

プロフィール

4歳からマリimbaを始める。今年8月に行われた「浜の風コンクール 2022 小学校高学年部門」、「第2回印西国際音楽コンクールヤングアーティスト部門」の2つのコンクールに出場し最高賞を受賞。

今年8月に横浜市内で開催された「浜の風コンクール2022」。全国から約50人が応募しました。動画審査で予選が行われ、ステージ演奏審査で本選が行われました。このコンクールの小学校高学年部門で、大橋叶さんが、見事、マリimbaで最優秀賞グランプリを受賞しました。

マリimbaは、木琴の一種で、たくさん木の音板がピアノの鍵盤のように並ぶ楽器です。板が金属の鉄琴なども木琴の仲間ですが、その中でもマリimbaは、4オクターブ以上という最も広い音域で、深みのある音を奏でることができます。大橋さんは、「木でできていて、豊かな音色が特徴。人によって表現や音色の違いがあるのが良い」と魅力を話します。

大橋さんは、コンクールを振り返り「本選の演奏は上手くできたが、周りの参加者の演奏が上手だったので不安だった。最優秀賞グランプリが発表されたときはうれしく、とても興奮した」と語ります。また、今回のコンクールに向けて、「昨年の楽曲では音のミスや、その他の課題を完璧に演奏することができなかった。今回の楽曲では完璧にできるよう取り組み、き

ちゃんと仕上げる事ができた」と振り返ります。

大橋さんは週1回の音楽教室でのレッスンの他に、自宅でも毎日マリimbaの練習に励んでいます。大橋さんが通う音楽教室の講師の高橋美智さんは「レッスンで言われたことを理解して、できるようにするのが他の生徒に比べて早い。自宅でも真面目に練習に励んでいるためではないか」と大橋さんの強みを分析します。

大橋さんがコンクールで演奏した楽曲は、マーク・フォード作曲「ポラリス」。「強く迫力があるところと、緩やかで柔らかいところがあり、自分は緩やかで柔らかいところが好き」とはにかみます。

次の舞台は、令和5年3月に行われる「日本ジュニア管打楽器コンクール」です。昨年度と一昨年度の同大会では惜しくも銀賞。今年度は金賞受賞を目指して、日々練習に取り組んでいます。

今後について「まだまだ課題があるので、上達するよう少しずつ練習したい」と話す大橋さん。将来は音楽の先生になることを夢見ています。

夢に向かって、大橋さんはマリimbaの美しい音色を奏で続けます。